

三小タイムズ

令和3年1月19日発行 校長 辻 久恵

社会授業（4年2組）

単元名 世界とつながる大田区

本時のねらい

「国際都市おおた宣言」をした大田区のまちづくりについて疑問に思ったことから学習課題をつくり、それを確かめる学習計画を立てる。

学習の展開

○学習の足跡を活用し、前時の振り返りを行う。

大田区の取り組みについて気になることを出し合い学習課題をつくり、学習計画を立てよう。

○大田区と外国の人について気になることを出し合う。

- ・宣言をしてなぜ外国人が増えたのか。
- ・産業の力強さ
- ・多文化共生ってどういうこと？
- ・宣言を出して変わったことは何か？
- ・大田区の近くの区はどうなっているのか？
- ・言葉が通じない人への対応

○使う言葉うい決めていきましょう。

- ・外国人 ・大田宣言 ・多文化共生 ・大田区
- ・三つの柱 ・産業の力強さ ・変わったこと ・対応
- ・おもてなし、ふれあい、未来をつくる

○おおた宣言の中に三つの柱が入っています。

外国人、おおた宣言、大田区、ふえたのか4つの言葉を使って学習問題をつくりましょう。

- ・国際都市おおた宣言で外国人がなぜ増えたのか。
- ・どのような取組をして外国人が増えたのか。
- ・なぜ大田区に集まるのか。
- ・どうかわったのか、どう対応したのか。

○みんなの意見をまとめると学習課題は次のようになります。

国際都市おおた宣言をして、どう対応し外国人はなぜ増えたのか。

○学習計画を立てましょう。

- ・三つの柱
- ・まず、おもてなし ・次に、ふれあい ・それで、未来をつくる

○こうやっていけば対応が分かりますか。なぜ増えたかもわかりますか。

○これからこの順番で進めていきましょう。

